

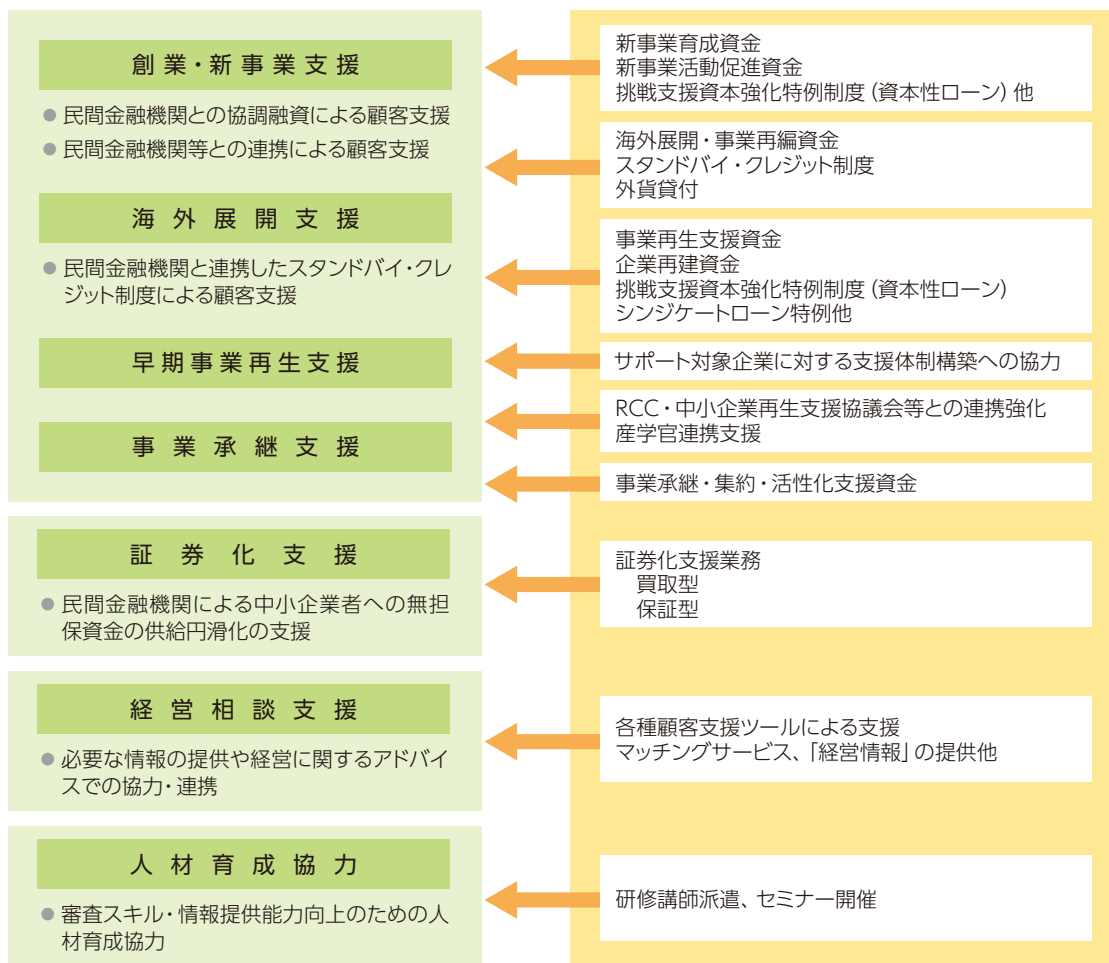
民間金融機関との連携

民間金融機関との連携を通じ、中小企業者の皆さまへの金融円滑化に取り組んでいます。

民間金融機関と協調融資、証券化支援などで連携

中小企業事業は、融資・証券化支援・信用保険の多様な機能と長年にわたり培った審査力、全国約4.4万先の顧客データベースに基づく情報を活かし、「創業・新事業支援」「海外展開支援」「早期事業再生支援」「事業承継支援」「証券化支援」「経営相談支援」「人材育成協力」の分野で民間金融機関と連携して、中小企業者の皆さまへの金融円滑化等に取り組んでいます。具体的には、民間金融機関と緊密な情報交換を行い、新事業案件や再生案件における資本性ローンを活用した協調支援、マッチングイベントや海外展開・事業承継セミナーの共催などに取り組んでいます。

連携可能な分野と連携の具体的内容



● 地域金融機関との連携実績

地域金融機関との連携内容(平成21年4月～平成30年3月)

	地域金融機関数 ^(注1)	連携実施金融機関数	連携実施割合	連携内容(延べ実施件数)		
				貸付相談	情報支援	講師派遣協力等 ^(注2)
地銀・第二地銀	103	103	100%	13,613	1,626	1,723
信用金庫	260	257	99%	4,853	694	1,288
信用組合	148	97	66%	518	38	118
合計	511	457	89%	18,984	2,358	3,129

(注1) 沖縄県の金融機関を除き、埼玉りそな銀行を含みます。

(注2) 説明会、勉強会、研修講師派遣。

民間金融機関と共にビジネス商談会を開催

三行ビジネス商談会

日本公庫名古屋支店では、東海地区を拠点とする十六銀行、名古屋銀行及び百五銀行との共催により、各機関の取引先企業のビジネスマッチングを行う「三行ビジネス商談会」を開催し、451社が参加、824件の商談が実施されました。

同会では、商談会HPに事前に登録したニーズに対して商談申込みを行う「事前アレンジ商談（買い手企業のニーズを事前登録し、売り手企業が商談を申し込む商談形式）」を採用することで、参加企業の今後の取引拡大に一層繋がる商談機会を提供しています。

公庫は、協調融資だけでなく、このようなビジネスマッチングにおける連携体制の構築など、地元金融機関が取り組む地域密着型金融の一層の推進に積極的に協力し、地域経済の活性化を支援しています。



鶴岡市のバイオベンチャー及び街づくり会社への支援

Spiber株式会社は、慶應義塾大学先端生命科学研究所（以下、IAB）発のバイオベンチャー企業で、地球規模の課題解決の一つとして、タンパク質素材の産業化を目指しています。同社では、天然のクモの糸に含まれるフィブロインという「構造タンパク質」をベースにした「人工合成クモ糸繊維」の量産基礎技術を独自に開発。化石燃料などの限りある資源に依存しない新世代の産業用基幹素材として、アパレルや自動車分野など様々な用途への応用が期待されています。

中小企業事業はSpiber株式会社の成長性を高く評価し事業化・製品化は可能と判断したこと、また民間金融機関に対する将来的な呼び水効果が期待できることから、政策金融機関としてのリスクテイク機能を発揮し、事業拡大に必要な研究開発資金等を融資しました（資本性ローン）。

ヤマガタデザイン株式会社はIABやSpiber株式会社が立地するサイエンスパークの不動産開発を手掛ける街づくり会社です。

山形県及び鶴岡市は、バイオテクノロジー関連企業や大学・研究所、行政の関連機関が協力し合う産業クラスター事業（山形県バイオクラスタープロジェクト）を推進しており、サイエンスパークはIAB誘致をきっかけに整備が進められてきました。サイエンスパークの全体面積21.5haのうち整備済の面積は7.5haで、残る3分の2の開発を進めているのがヤマガタデザイン株式会社です。

中小企業事業は、山形銀行、荘内銀行及び鶴岡信用金庫と連携して、国内外の研究者等を対象としたサイエンスパーク内のホテル整備事業について、協調融資を行いました。

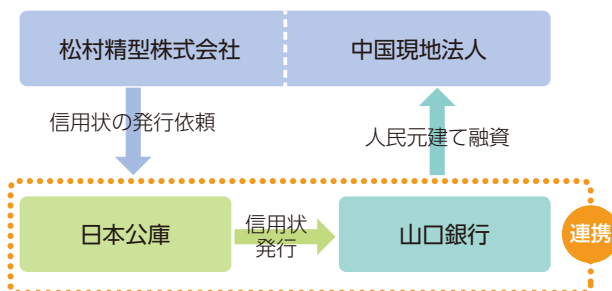


中国現地法人の受注拡大に必要となる資金調達をSBLC制度で支援

松村精型株式会社は、日系大手自動車メーカー向けの金型部品及び変速機部品製造会社です。同社の中国現地法人（大連市所在）は平成15年に設立され、日系企業の高い品質要求に対応可能な技術力を有することや、機密管理が難しい中国において設計データ管理が徹底されていること等が評価され、日系大手自動車メーカーを主力取引先に業容を拡大してきました。

かかる中、経営強化法に基づく経営力向上計画の承認を中部経済産業局から受け、海外現地法人と一体になって経営力向上に取り組むとともに、中国現地法人において、受注拡大に対応するための運転資金が必要となり、現地流通通貨建ての資金調達を計画しました。

中小企業事業は、同社から資金調達の相談を受け、山口銀行の本店と連携し、スタンドバイ・クレジット制度を活用して同行の大連支店に対し信用状を発行。中国現地法人の人民元建て資金調達を支援しました。



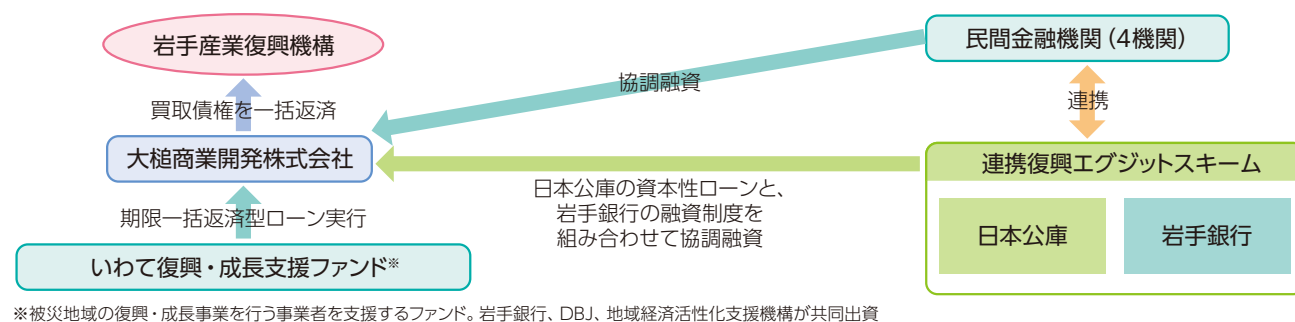
協調融資スキームを活用したエグジットファイナンスを実施

大槌商業開発株式会社は、岩手県大槌町と金石市を主たる商圈とするショッピングセンター「シーサイドマスト」を運営し、地元住民のインフラとしての重要な役割を担っていましたが、東日本大震災により甚大な被害を受け、長期休業を余儀なくされました。この状況に対し、岩手産業復興機構が債権買取支援を行ったほか、グループ補助金の活用等によって、平成23年12月にショッピングセンターの営業を再開しました。

同社は、営業再開後の企業努力等により早期の経営再建を実現したことから、自己資金と金融機関からの資金調達により、岩手産業復興機構の買取債権を一括返済することとしました。

盛岡支店中小企業事業は、当社の業績のみならず、大槌町にとっての復興のシンボルとしての位置づけや、地域経済における重要度なども勘案、岩手銀行との連携による「連携復興エグジットスキーム※」を適用し、その他の支援金融機関とも協調して買取債権の一括返済資金について協調融資を行いました。

※連携復興エグジットスキームは、岩手産業復興機構等の買取債権を一括返済してエグジットを図ろうとする被災企業の皆さまを岩手銀行の融資制度と日本公庫の資本性ローン等を活用してサポートする協調融資スキームです。

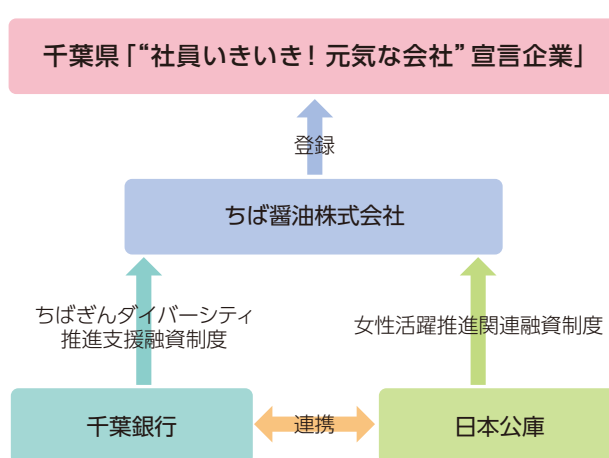


ダイバーシティ推進に係る連携スキームを活用して協調支援

ちば醤油株式会社は、しょう油、つゆ・たれ、漬物の製造・販売を手掛ける1854年創業の老舗企業です。同社はこれまで、製品開発、製造、デリバリー等の各分野で女性職員を登用するなど女性の活躍推進に積極的に取り組んでおり、千葉県「社員いきいき! 元気な会社」宣言企業※にも登録されています。

千葉銀行と千葉支店中小企業事業は、ダイバーシティを推進している企業に対する連携支援の千葉県内第1号として、同行の「ちばぎんダイバーシティ推進支援融資制度」と公庫の「女性活躍推進関連融資制度」を適用して、運転資金について協調融資を行いました。

※千葉県が、仕事と生活の両立支援や誰もが働きやすい職場環境づくりに取り組む会社を募集し、「社員いきいき! 元気な会社」宣言企業として登録する制度



資本性ローンを活用した民間金融機関との協調融資により資金繰り・財務体質強化を支援

中小企業事業は、資本性ローン（「挑戦支援資本強化特例制度」）を活用し、民間金融機関と連携して協調融資を行うなど、新規事業や企業再建等に取り組む中小企業者の資金繰りと財務体質強化の支援を推進しています。本特例による債務については、金融検査上自己資本とみなすことができます。

挑戦支援資本強化特例制度（資本性ローン）の融資実績推移

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
融資先数	803先	767先	760先
金額	601億円	567億円	551億円